



与野本町のバラ園

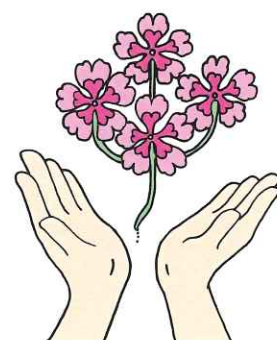
みらい

2009
創刊号 ①

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

創刊に寄せて…P2～3 さいたま市私立保育園協会第7回総会…P4
部会報告…P5 研修視察報告…P6
保育情報・新会員紹介・編集後記…P7 保育園紹介…P8



会報創刊に寄せて



さいたま市長
清水 勇人

この度、さいたま市私立保育園協会の会報が創刊されましたことに、心よりお祝い申し上げます。

また、剣持浩会長をはじめ、会員の皆様におかれましては、日ごろより、さいたま市の保育行政に御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、市民一人ひとりがしあわせを実感できる市政にすること、そして、その一人ひとりを「絆」で結ぶことで、更なるしあわせを感じられる市政を実現してまいりたいと強く思っております。そのため地域課題や全市の課題の解決に向けて、皆様と共に考え、共に汗をかく全員参加のまちづくりを行ってまいりたいと考えております。

とりわけ、近年、子どもたちを取りまく環境は厳しい状況にあります。私は、「子

どもの夢を育むまちづくり」を目指し、保育所の「待機児童ゼロプロジェクト」を推進していく所存です。

未来を担う子どもたちの成長のための施策は、「輝く子どもたちの未来への投資」であり、私としても最重要施策のひとつとして取り組んでまいりますので、さいたま市私立保育園協会の皆様におかれましては、さいたま市の子育て支援の充実のために、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人として歩みだした「さいたま市私立保育園協会」の今後の活動に大いに期待するとともに、会員の皆様のますますの御健勝、御活躍を祈念いたしまして、創刊のお祝いの言葉とさせていただきます。

社団法人として歩み出した私立保育園協会に期待して

埼玉県保育協議会会長 吉田 武人

さいたま市私立保育園協会の社団法人化おめでとうございます。法人化に向けた関係者のご努力に対して敬意を表し感謝を申し上げます。現在、日本中の保育所・保育園の置かれております厳しい状況を考えますと誠に時宜を得たものと思います。合計特殊出生率が上向きが兆しが見えたとは思いますが、出生数は減少を続けております。また、新たな入所の方法などの検討がなされている国の制度改正の動き、一方で景気の動向を如実に映し出すように、再度増加の傾向が現れている保育所待機児童の問題など少しも目を離せない状況が続いております。

そして、公立保育所運営費一般財源化以降、公立保育所にお

ける正規保育士の減少に伴う非正規・パートタイム保育士の急増による保育環境の悪化など、これまで公立保育所の整備が民間保育所の条件整備を促してきた側面もあり、民間保育園の立場としても看過できるものではございません。このような中、貴協会が社団法人化を機に益々組織が強化され、保育所を利用するすべての子供たちの最善の利益を守り、公私の立場を超えて保護者はもとより、保育所を必要とする総ての子供たちと子育て中の親たちの期待に応えていく組織として成長されますことをお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。

さいたま市私立保育園協会の今後に期待

日本保育協会埼玉県支部長 大鹿 良夫

緑の美しい季節となりましたが皆様には、子ども達の保育に専念のことと存じます。先日、さいたま市私立保育園協会の総会にはじめて出席させて頂きました。その際、さいたま市長代理の方が言った「子育てするなら、さいたま市」の言葉は、120万都市の未来を担う子ども達への夢と希望あふれるメッセージであり心から共感いたしました。そして、丸山初代会長の下に基礎を固められ次代に向けて更なる発展を剣持新会長に託す一致団結の力強さを感じたところです。

現在、保育制度の改革が議論されておりますが、私共は、入

所要件の拡大については公の責任を明確に児童福祉を後退させない。市場原理に基づく直接契約方式の導入はしない。子ども達の育ちを重視し、最低基準は守る。一時預かり、子育て支援拠点事業に係る要件については三年猶予されたが再考を望む。幼保一元化問題については決着済と思うので、失礼ながら総理は勘違いしないようお願いしたい。今後とも国会議員のお力を借りて国に要望してまいります。一緒に頑張りましょう。結びに、広報第一号発行のお祝い申し上げますと共に皆様のご健勝と貴会の益々のご発展をお祈り致します。

さいたま市私立保育園協会社団法人設立にあたって

社団法人埼玉県私立保育園連盟会長 森田 弘道

さいたま市が政令指定都市として誕生し、続いて新たに岩槻区を加えて、名実共に確固とした大都市圏が出現しました。またことしめでたきことであり、希望に満ちた前途を期待させるものです。

そして、この歴史的な新展開を機縁として、法人格を備えた私立保育園協会が加盟保育園の大同団結により設立されることになりました。折しも国は、市町村合併を促進し、適正規模を

備えた地方自治体が安定した財政的、社会的基盤の上に社会保険教育、医療の施策が安定的に展開するように誘導しつつあると思います。新しく生まれる協会が、その人材と長年にわたる活動の実績を生かして、人材育成Ⅱ（研修）、予算対策運動、少子化・入所待機児童対策等にますます力を発揮されますよう祈念して御祝辞とします。

保育園を取り巻く 大きな変動の中で



一般社団法人
さいたま市私立保育園協会

会長 剣持 浩

さいたま市の花はサクラソウ、可憐で清楚な花です。日本中に自生していたサクラソウは宅地開発や土壌汚染で姿を消してしまいました。サクラソウのように、保育園で生活する小さな子どもたちの未来が時代に翻弄されることがないように願います。

さいたま市が平成15年4月に政令指定都市となり、この時始めて当時の浦和市、与野市、大宮市(平成17年には岩槻市)の私立保育園が一つになって私立保育園協会として歩み出しました。そして、今年迎えた第7回総会は、協会が社団法人として新しい組織として改編した画期的な総会となりました。今後、公益法人として協会が果たす役割が大きくなります。
認可保育園をめぐるここ10数年さまざまな動きがありました。

公立保育所運営費の一般財源化(2004年)によって保育料が引き上げられ、民営化を促し、コストの削減、正職員の採用抑制とパート職員への切り替えが進められました。また地方分権改革推進委員会を中心とした「保育所最低基準」の見直し、「国は基準を示すにとどめ、地方の現状にあわせて独自に…」という動きもありました。

規制改革会議を中心に現行制度の撤廃や企業中心の多様な事業の参入、市場競争の導入などの動きに対して、私たちは保育三団体(日本保育協会、私立保育園連盟、日本保育協議会)と共に反対してきました。これまで議論になってきた保育所の制度問題は、時の社会状況と関わらざるを得ませんが、子どもの最善の利益が侵されたり、法律の形骸化や最低基準がゆがめられれば、子どもだけでなく、保護者や保育士、保育園にとって将来に禍根を残すでしょう。協会に加盟している私立保育園は時代の大きな変動の中で新しい保育所指針が施行され、子どもたちの豊かな育ち、養護と保育・教育をどう実践していくかが求められます。

サクラソウの花言葉は「希望」です。別名「青春の始まりと終わり」とも言われます。青春が終わらないように、協会が「未来への希望」を持って、子どもたちと子育てしているすべてのさいたま市民のために大きな役割を果たせるように、会長として微力ながら惜しみない力を発揮してまいりたいと思います。

これまでの協会と未来へ



一般社団法人
さいたま市私立保育園協会

顧問 丸山 郁代

紫陽花の色鮮やかな季節となりました。

この度、私事さいたま市私立保育園協会の会長を退任いたしました。平成十三年五月浦和市私立保育園協会から引き続き会員の皆様と共に十三年にわたり会長を務められたのも会員の皆様の御支援と御協力の賜と御礼申し上げます。昭和五十九年に浦和市により協会を立ち上げるよう御指導を頂き、初代の会長に今は閉園となりました瀬ヶ崎保育園の河野亮永先生、二代目河野富士代先生、三代目丸山郁代と各々の会長の意向を引き継ぎながら当初は十二園で十二万円の補助金を頂き厚生省の認可園として福祉の精神に則り、入所児童の保育、処遇の改善と保護者の支援を永々と行政に働きかけてきました。又幼稚園協会にも保育園協会の存在感を示し共存共栄を呼びかけてき

ました。平成九年には特に公価格差の是正では民間保育所職員雇用対策費の補助は職員処遇の改善にとって本当に助かりました。無利子の民間保育所運営資金貸付金等、職員のボーナス支給に助かっています。定員割れに対しては早い対応で園児の配分をして頂き行政の方々と対話を重ね保育所の最低基準を維持してこられたのも子どもへの熱き思いと行政の御理解の賜です。広報第一号につき投稿の機会を頂き、ふと足を止めて協会の発足当時を振り返ると全てが無い無いづくしの大変な時代でしたが、感謝や思いやり、お陰様の心に満ち溢れ妙に懐かしく感じられます。時の流れは早く少子化や待機児童対策で会員数五十七園になった現在、児童福祉法の改正は保育所の最低基準の引き下げや直接契約制の導入等幼保一元化、市場原理に基づくコスト論が先行して国や市の公的責任が不明確になろうとしています。協会の顧問として未来を担う子どもや全ての子育て家庭に対して公的責任による子どもの育ちを保障するよう国や市に皆様と共に末席から働きかけて行きたいと存じます。これから協会も社団化になるにつけ、会長は会の顔として今迄より以上に保育団体の存在を内外にアピールし現行の公的保育制度が児童福祉法改正に依り崩されることのないよう新保育制度導入に当り行政への保育運動を強めて頂きたいとお願ひし末筆ながら会員の皆様の方にご発展をお祈り申し上げます。

さいたま市私立保育園協会第7回総会開催される 一般社団法人の設立に向けて新たなスタート



さいたま市私立保育



去る5月14日、ラフォーレ清水園において、さいたま市私立保育園協会第7回総会が行われました。

今回の総会は50名を超える方々にご出席頂き、三須亜由美氏を司会として始まり、三須氏の開会のことばの後、丸山郁代会長より会長挨拶がありました。

総会のご来賓として、さいたま市長代理・保健福祉局長の盛聖氏、子ども未来部次長の小野田秀彦氏、保育課長代理の五島幸男氏、埼玉県保育園協議会会長の吉田武人氏、埼玉県私立保育園連盟副会長の遠藤亘氏、日本保育園会埼玉支部長の大鹿良夫氏にご出席頂き、盛氏、小野田氏よりご挨拶を頂きました。

続いて新会員の紹介があり、その後、海田英彦氏を議長として、平成20年度事業報告や

平成21年度事業計画案、一般社団法人さいたま市私立保育園協会の設立について等の第1号議案から第4号議案が可決され、第7回総会は無事幕を下ろしました。

閉会後の懇親会では、丸山氏の退任に伴い新たに会長に就任した剣持浩氏より挨拶があり、ご来賓の前さいたま市長相川宗一氏、総会から引き続きご出席頂いた吉田氏、遠藤氏からもご挨拶を頂きました。

ご挨拶の後、このたび退任された丸山氏へ、剣持新会長より花束の贈呈が行われ、副会長の中島一雄氏の乾杯で懇親会が始まり、しばし和やかな雰囲気の中で歓談が行われました。賑やかな歓談の中でしたが、黛秋代氏による中締め、司会の大野智子氏の閉会の挨拶により、懇親会は盛会裡に閉会となりました。

平成21年度 予算対策部事業計画

部長 中嶋 一雄

政令都市さいたま市の一般社団法人さいたま市私立保育園協会に加盟する57園の認可私立保育園の円滑な運営をより向上させることを活動方針とする。

1. 平成22年度予算要望
2. 市単独補助金増額の要望（人件費等の運営費補助、児童処遇費等の管理費補助及び研修費補助金等の団体補助）
3. 県内保育三団体及び全国政令都市の認可私立保育団体との連携を強化し、保育界の動向を見据えた予算対策
4. 議会・行政との関係を強化し、一般社団法人さいたま市私立保育園協会への理解と今後の運営への向上に努める。

以上4点を予算対策部の重要な活動計画としており、今後とも会員の皆様により一層のご協力をお願いします。

平成21年度 調査部事業計画

部長 島村 和宏

【事業計画 概要】

- 国や市の動向調査
- 視察・調査
- 各園の実態調査
- 他の市や県の運営費の内容が分かる
- 認可園を取り巻く行政の動きや社会的な動き等の情報をまとめ報告していく
- 予算対策部・研修部との連携 必要な情報の調査
- 運営上の問題への議論

【具体的な活動】

- ① 幼児教育研究調査委員会への出席（さいたま市立幼児教育センター）
※ 幼児教育における諸問題について調査研究し、幼児教育の振興に資する。
※ 研究調査委員会での競技内容を役員会・定例会で報告し、調査部の活動内容を検討する。
- ② 全国私立保育園連盟 政令指定都市会議の資料をもとに「政令市資料」の取りまとめ作業
- ③ 視察（保育所その他の施設等）
- ④ アンケート調査の実施
（1回目 私立保育園協会での青年部会発足に向けてのアンケート実施）
（その他必要に応じて調査を行う。）

平成21年度 研究・研修部事業計画

部長 丸山 和彦

平成21年度は事業計画に基づき、研究・研修部会では下記の様な研修を予定しております。

【Ⅰ】市の協会として、当協会でしかできないような研修

- ◆ 市の私立園同士の施設見学会&保育研究発表・実践発表等（年2回程度）
- ◆ 担当者研修（各年3回程度）
 - 保育士研修 ● 看護師研修
 - 特別保育事業者研修（地域子育て支援担当者）

【Ⅱ】時事問題の研修

- ◆ 新保育指針に関する研修
 - 保育課程、自己評価、保育要録

【Ⅲ】各園のウィークポイントや悩みを解消するための研修

- ◆ 危機管理 ◆ 園経営

【Ⅳ】各園の保育の質を高めるための研修

- ◆ 環境教育 ◆ 保育環境の研修

9年ぶりに保育所保育指針が改定し「職員の資質向上」の努力義務が定められました。また今年度はさいたま市私立保育園協会が社団化の道を歩み始めた記念の年でもあります。そこで当部会では市内での研鑽をさらに深めて行きたいと考え、例年に比べ多くの研修計画を予定しております。学ぶとは「まねる」ことでもあります。大変お忙しい中かと存じますが、会員の皆様にはできるだけ積極的に研修にご参加頂き、市内で風通しよく学びあい、子ども達の最善の利益に向けて、互いの保育の質の向上を目指していけたら幸いです。

平成21年度 食育部事業計画

部長 和田 明子

平成21年4月から施行された「保育所保育指針」には、保育の中で食育の視点を取り入れることの重要性を強調され、第5章の健康及び安全の中に「食育の推進」が位置づいている。保育所における食育が、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標として実施されること、また、子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみに、食事を大人や仲間などの人々と楽しみ合う子どもに成長していくことを期待するものであることが示された。

今回は、食育の具体的な内容を保育の内容と別にするのではなく、第3章の保育の内容、養護（生命の保持、情緒の安定）、教育（健康、人間関係、環境、ことば、表現）のすべての領域に食育の視点が盛り込まれ、食育を保育の一環として位置づけていくことが明示された。これは、食育が単独の特化した領域ではなく、上記の養護や教育の視点が総合的に展開できることを意味する。

本部会において、食に関する知識の発信やスキルの習得の場を増やすだけでなく、保護者の養育力向上への寄与ができるような食を通じた支援を行って行きたいと考える。

「ハンガリー研修を終えて」

もとの木保育園 園長 中嶋 貴子

今回のハンガリー研修は、「園長の仕事・子どもの発達支援・保育士の資質向上を助ける」がテーマでした。「新保育所指針」に園長の責務が導入され、保育を新たに考えるのに、興味深いものを感じ研修に参加しました。

ハンガリーの首都ブダペストの乳・幼児園は80%位が国営で0～2歳児が乳児園、3～5歳は幼児園に分かれ、乳・幼児園には4つの柱（個人的接し方・身体の発達保障・遊び・課業）で組み立てられた教育プログラムがあります。

そして園長は週1度保育室を見学し、ビデオ撮影を行います。チェックリストは、①身心的発達の保障②子どもとの個人的接し方③遊び・仲間関係と自主性④課業⑤環境（道具・時間・空間）⑥方向付け⑦大人のお互いの仕事、があり、チェック

クリストの中から項目を決め、「今回はこのところのチェックをさせてもらえませんか」と伝え、見学・ビデオ撮影を行います。

園長と保育士たちは、見学とビデオの分析などを話し合い、教育プログラムにのっとった仕事をするのを伝え話し合うことで、職員集団が落ち着き、家庭的な乳・幼児園になるということでした。

さて、日本の保育の現状に立ち返ってみると、文化・価値観が揺らいでしまっただけで、保育園も不透明な世界になってしまったと思われまふ。私たちはもう一度原点に戻り、乳幼児期に何が大切かを学び、実践し、理論化していくことが「子ども達の最善の利益」につながることを痛感した研修でした。

「ドイツ・ミュンヘン市の視察より」

浦和ひなどり保育園 園長 丸山 和彦

昨年6月に約1週間、ドイツ・ミュンヘン市の保育環境視察ツアー（保育環境研究所ギビングツリー主催）に参加してきました。かなりハードなスケジュールでしたが9つの保育施設を視察。緑に溢れた美しい園庭。目的に応じたゾーニング（区分け）が確立され、利便性や快適性の高い保育空間。子ども達の意欲を引き出すための豊富な教材や玩具。子ども達の「自立」に向け、手を出し過ぎず一歩も二歩も後ろから子ども達を見守る保育士。世界の幼児教育発祥の国として、「現在と未来の子ども達の最善の利益を！」という理念を長年真摯に追い求め、積み重ねてきた歴史や文化、子どもを肯定的に捉える価値観等々に触れ、感嘆する日々を過ごしました。

そこで突然ですが、問題です！

Q…ミュンヘン市内で9つの園を見学しました。①その中で、ピアノが置いてある保育室はいくつあったでしょう？ ②その中で、鉄棒が置いてある園庭はいくつあったでしょう？ ③その中で、キャラクター物が置いてある保育室はいくつあったでしょう？ ④その中で、年齢別でクラスが編成されている園はいくつあったでしょう？ A…正解は全てゼロです。

私達が保育の常識だと疑われない多くの事が、いかに日本独自のものであるか。またそれが50年以上も前から根本的に変わらず、いかに世界の常識からかけ離れた物になっ



てきているのか。違う価値観や文化に触れると、「保育とはこうあるべきだ！」という常識や刷り込みが薄れ、改めて私達、日本の乳幼児保育の立ち位置を客観的に認識する事が出来ます。

今年度から改定される保育指針では、「人権」や「子どもの人格」を尊重して保育を行う事が義務となります。そこで、この指針を遵守するためには「子どもの想い」と「大人の願い」をできるだけ両立できるように、子ども達の発達の特性を理解し、子ども達一人一人の意欲や欲求を肯定的に捉え、それらができるだけ否定しないですむように「環境」（人・物・場）を常に見直す事が必要不可欠になってくると思います。今回のドイツの視察から、各園が自園の保育を振り返り、柔軟に「環境」の質を高めていく事が今後、日本の保育には何よりも急務であると強く感じました。



保育制度が変わる？

「種まく人」という言葉があります。

保育者は、日々子ども達の心の中に種をまき、土壌を肥やすのを生業としているように感じています。きれいな花が咲くか、大きな木に成長するか、途中で枯れてしまうか、見届けることは出来ないかもしれませんが、とにかく一生懸命種を植え、太陽の光の下で、たっぷりの栄養を与え、その上、愛情を注いで育てています。私どもの仕事はそれで十分、と思っています。でも、私たちは職員の生活も支えていかなければなりません。

さて本題に入りましょう。

最近、保育制度が変わる・・・と新聞などで取り上げられています。

保育所は、今まで保護者が収入に応じた保育料を市町村に支払い、保育所は市町村から委託費という形で必要経費を保障され運営しています。補助金の名前や金額が違って最低限のお金は間違いなく入ってきますので、100年に一度という未曾有の「不景気」にもあまり影響されない職種でした(給料は安いのですが・・・)。

今、厚生労働省で検討されている新しい保育制度は、介護保険や障害者自立支援法をお手本にし、保育の必要性に応じて認定を受け、「要保育度認定(仮名)」の数字に

よって保育所の利用時間を決め、それに応じて補助金が出る制度です。

そうなりますと、保護者は、保育の認定を受けた時間内しか保育を受けられなくなります。不足分は当然自己負担となり、負担が出来る家庭は長時間の保育が可能になり、認定の最低時間の4時間しか保育を受けられない家庭も出てきます。「必要がないならいいのではないか」と思う方もいるかもしれませんがね。保育所には保育を受けた時間しか保育料が入ってきません。当然、必要な保育士の人数も時間帯によって変わってきます。人の配置は益々煩雑になってくることでしょう。

それに伴い「直接契約」まで頭をもたげてきますので、保育料の徴収も保育所の仕事になります。今でも事務量が多いのに、金銭の授受まで保育所の範疇になると、保育の質の低下も懸念されます。

この案はまだ思案段階のようです。しかし、さまざまな問題を含んだまま法令化されてしまってからでは、「反対」の烽火をあげても後の祭りです。推移を注意深く見ながら私たちも、学習を重ねていかなければと思っています。皆さんはどう思われますか？

〈広報部 望月 裕子〉

皆様の投稿をお待ちしております。

【宛先】 さいたま市私立保育園協会 〒338-0832 さいたま市桜区西堀 5-5-3 わらしべ保育園内

編集後記

七月七日は七夕、七夕飾りには伝承的な折り紙や切り紙がいくつもあります。美しい夏の夜空をながめながら、七夕伝説の物語を聞くような風習は大切にしたいと思っています。

さて、広報誌第一号発刊にあたり、「ほら、みんなのアイデアが集まるとこんなにすばらしい広報誌ができる」と子どもたちを見守るように励ましてくださった黛先生、取材の応援をしてくださった剣持先生、大宮さくら保育園の訪問取材では吉岡先生のお人柄に触れ、どつしりとした桜の古木に熱いものがこみ上げてきました。

記事にご協力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

広報部 和田喜美

新 会 員 紹 介

社会福祉法人あすみ福祉会

茶々すずや保育園

園 長 … 迫田 健太郎

所在地 … 〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷5-6-11

このたびさいたま市私立保育園協会のお仲間に入れていただくこととなりました。

これまでの経験を活かしつつ、新しい土地で皆様に様々なことをご教授いただきながら保育の向上に努めて参りたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

保・育・園・紹・介



大宮さくら保育園

園長 吉岡 貞典

園庭には桜、松、紅葉の古木が生い茂る恵まれた自然環境におおわれた大宮さくら保育園は旧大宮市の最北部、上尾市との市境の位置に戦後まもなく開設をした。昭和22年頃である。当時の子ども達は裸足で遊んでおり、道教学者であり、住職の初代園長(吉岡義豊)は、「この子たちに靴を履かせて、きちんと教育のできる子供の楽園を造りたい」と寺の建物の大部を開放して幼児の保育の場に提供した。

昭和27年3月15日「設置大綱」を申請、同年4月に認可を受ける。当時、大宮市には公立大宮保育園1園のみ、保育料は100円程度だった。爾来、周囲の環境の変節を見ながら一貫した環境を保ち続け四季おりおりの花や緑を宿す広い園庭の中で、明るく健康な子、やさしく素直な子、まじめで熱心な子の三点の保育目標をかげ、三世代に亘る、多数の卒園児を送り出しながら地域に根ざした保育園として歩んでいる。



聖徳保育園

園長 三ッ森 道

昭和29年2月無認可幼児院を金剛寺境内に開設、同年6月、認可施設聖徳保育園となりました。園舎の形は珍しい蒲鉾型でした。昭和51年3月社会福祉法人福田会^{ふくでんかいしょうとく}聖徳保育園が誕生し、今日に至っております。

半世紀を越える時の流れの中で、園舎も何度か、改造・改築が行われ、現在の園舎は、昭和52年3月に建てられた物ですが、補修などもきちんとされており、安全かつ快適な環境となっております。

園長も私で三代目となりますが、初代園長は、当時、近郷近在の農家の農繁期はもとより、日頃の忙しい生活ぶりを見て、保育所開設を決心したと聞いております。まさに、子育て支援です。

当時も80名ほどの子ども達が在籍していて、中には五関・大久保・田島方面からリヤカーに乗せての通園もあったようです。そして今、当時の子ども達の孫を保育しておりますと、当園の歴史の長さ、そして、地域の方々との絆の深さを感じます。こんな聖徳保育園の歴史を、園庭に残る1本の銀杏の大木は見守っているのでしょうか。目まぐるしく変わる生活、そしてあらゆる環境、これからの保育制度改革も児童福祉にとって後退の危機が叫ばれております。

赤ちゃんは夢と希望をにぎりしめて生まれてくる

この言葉を糧に皆様に喜ばれる保育を心がけていきたいものです。